



神谷直子 議員

### 公共施設のあり方について

**問** 公共施設の取り組みは、学校を地域コミュニティの拠点にし、他の公共施設を複合化・集約化して圧縮していくものです。長期的視点に立ち、次世代へ健全な財政を繋

ぐべく行うものです。市民説明会のアンケート結果は、平成26年度で9割の方、平成27年度には7割の方が複合化・集約化に理解しているとの結果でした。私は3月議会で、中央公民館の廃止及び解体の予算に賛成の立場をとりました。改めて、今なぜ、中央公民館を廃止しないといけないのかについて質問しました。

それでは、公共施設の在り方を考えるとは？

**答** 全国の自治体が、公共施設の老朽化問題に直面しています。高浜市だけではありません。施設にいろいろな機能を合わせるのが複合化です。集約化は、機能を1ヶ所に集めることです。両方ともコスト削減につながります。

**問** なぜ中央公民館を廃止するのですか？

**答** 中央公民館は、昭和55年から多くの市民に利用されてきました。しかし、築後36年が経過し、老朽化により、早急に修繕や改修が必要です。そのほか、施設の維持管理費など、多額の費用が必要になります。高浜小学校の建てかえに合わせ、体育館部分に機能移転されます。

**問** なぜ今回、前倒して壊されるのですか？

**答** 早急に大規模改修が必要です。施設の維持管理費も多額となり、前倒して壊さないと基金が枯渇するので、廃止することになりました。

**問** 住民投票では、中央公民館の廃止は複合化や集約化として当てはまらないと考えているのではないのでしょうか？

**答** 「中央公民館の取り壊しの賛否を問う」とした住民投票は、中央公民館の廃止について問われていると理解されたと思われます。高浜小学校に機能移転されるので、ご理解ください。

**問** 劇場型ホールとして考慮しましたか？

**答** 高浜小学校の建てかえで、体育館にホール機能を持たせます。中央公民館と同じ奥行きของ ステージ、楽屋の設置、ロールバックチェアや音響等の設備を設けることにしています。



小野田由紀子 議員

### 発達障がい者支援について

**問** 開設以来5年が経過した、こども発達センターと5歳児健診の実績や成果について。

**答** ●平成27年度の実績では、臨床心理士による相談が316件、作業療法

士による相談が293件、言語聴覚士による相談が460件と、開設時と比較すると、2倍を超える実績となっている。

●5歳児健診では、平成27年度の受診率が95.2%で、受診率の高さからも健診として定着していることが伺える。

**問** 発達障がいの早期気づきと、支援に繋げるためゲイズファインダーの導入に向けた調査研究は。

**答** ●まず、専門職がゲイズファインダーを理解し、具体的な利用状況を確認したい。

●現在行っている健診や相談事業の、どこに位置付けて実施していくのか、どの部分を補完するツールとするのかなど、検討していければと

思っている。

●来年1月から、子ども版の地域包括支援センターを目指してまいります。

### 若年性認知症対策について

**問** 若年性認知症と診断されたとき、どこに相談し、どのようなサービスや制度が利用できるのか。このまちで安心して暮らしていけるよう、普及・啓発すべきではないか。また、社会資源の利用についての考えは。

**答** ●早期診断・早期対応に繋げるための普及啓発から始めていく。

●地域包括支援センター内に、認知症地域支援推進員を配置する予定。

●10月に配置される愛知県の大府地域包括支援センター内の「若年性認知症コーディネーター」と連携しながら、相談支援体制を構築していきたい。

●若年性認知症の方にも使いやすい「認知症サポートブック」の変更を行う。

●社会福祉協議会が行っている「認知症カフェ」で、若年性認知症を対象としたカフェも開催できると思う。